

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

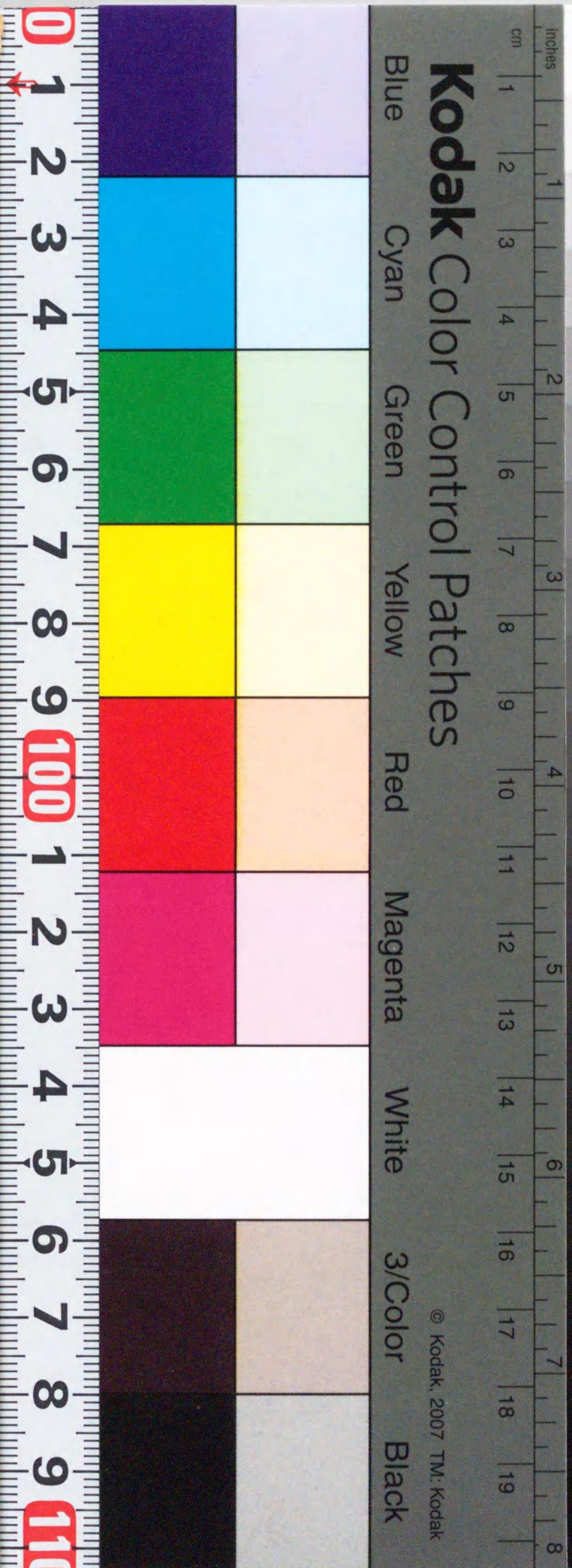


© Kodak, 2007 TM: Kodak

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak



Y994
J5901

鐵道省ニ於ケル小運送問題ノ經過

鐵道省

4994
J5901

目次

第一	公認運送取扱人制度	一頁
一	公認運送取扱人制度實施當時ノ事情	一
二	鐵道省ノ對策	一
三	公認運送取扱人制度	二
四	公認運送取扱人制度ノ推移	二
第二	指定運送取扱人制度	三
一	公認運送取扱人制度末期ノ事情	三
二	省ノ運送合同ニ對スル聲明	三
三	業界ノ推移	四
四	指定運送取扱人制度實施	五
五	特別小口扱ノ創設	五
第三	集配元請契約ノ改正	六



I種
W



一 特別小口扱元請料金	六
二 昭和十年ノ改正	七
イ 特別小口扱貨物ノ運賃引下	七
ロ 指定制度ノ助長ト運送業者間ノ融和促進	七
ハ 請負料金ノ合理化	七
三 改正後ノ実績	八
第四 現在ノ状態	八

鐵道省ニ於ケル小運送問題ノ經過

第一 公認運送取扱人制度

一 公認運送取扱人制度實施當時ノ事情

世界大戰當時經濟界ハ好況ノ波ニ乘リ鐵道貨物激増シ、小運送業界ハ稀ニ見ル活氣ヲ呈シ、大小運送店ノ亂立ヲ招致シタリ。而シテ中央ニ於テハ内國通運、國際運送、明治運送等ノ諸會社互ニ相反目シ、地方的ニハ之等ノ會社ノ系統ニ屬スル組合又ハ團體等併立シ、互ニ激甚ナル競争ヲ爲シタル結果、業界ハ亂脈不統一ヲ極メ、其ノ經營モ亦不堅實放漫ニ流レタリ。故ニ大正七年末休戰條約發表セラレ、一度經濟界不況ノ波ニ洗ハルルヤ、小運送業界ハ漸次苦境ノ底ニ墮チ、引換證付貨物ノ假渡、諸掛金ノ不拂、立替金ノ背負込ミ等ノ爲、運送店ハ經營上ノ破綻ヲ來スモノ簇出スルニ至レリ。

之ガ爲荷主公衆ニ甚ダシキ迷惑ヲ及シ取引銀行ニ損害ヲ與ヘ、其ノ他取引ノ安全ヲ害シタルコト夥シク、當時運送取扱人取締法規ノ制定ノ必要ガ社會ノ輿論トナリタルハ蓋シ當然ノコトナリト謂フベシ。

二 鐵道省ノ對策

鐵道省ハ此ノ情勢ヲ見テ放置スベキモノニ在ラズトシタルモ、當時ハ官制上鐵道省ニ陸運監督權ナク(昭和三年鐵道省ニ移管)、取締法規ノ制定ニモ困難ナル事情アリシヲ以テ、先ヅ過渡的施設トシテ大正八年六月公認運送取扱人制度ヲ實施シタリ。

三 公認運送取扱人制度

公認運送取扱人制度トハ各驛所ニ於ケル運送店中ヨリ驛勢ニ應ジ一定額以上ノ國稅ヲ納メ(後ノ改正ニ依リ貨物取扱數量ニ據ル資格ヲ加フ)且信用アル運送取扱人ヲ選定シ之ヲ公認シタリ。本制度ハ社會ニ對シ運送取扱人ノ資力信用ノ裏書ヲ爲シタルモノニシテ、鐵道省ガ業者ヲ保證シ其ノ責ニ任ズルモノニ非ズ、荷主ニ對シ運送店ノ利用選擇ニ便宜ヲ與ヘ、同時ニ小運送ノ圓滑ヲ圖リタルニ過ギザルモノナリ。而シテ第一回公認發表ニ際シテハ全國運送取扱人數約八千店ノ内三千四百四十六店ノ公認ヲ爲シタリ。

四 公認運送取扱人制度ノ推移

公認運送取扱人制度ハ上述ノ如キ微温的、過渡的施設ニ過ギザリシ爲、運送店ノ統制、小運送業務ノ改善ニ資スル處尠カリシヲ以テ、業者ノ間ニモ此ノ制度反對ノ聲譽ルニ至リタリ。其ノ原因ヲ尋ヌルニ大略次ノ如シ。

イ 全國八千ノ運送店ハ其ノ信用、設備及資金等ニ大ナル懸隔アリ。且營業ノ合併分離其ノ他地方的ニ種々ナル事情錯綜セルニ拘ラズ、之ヲ納稅或ハ取扱數量ノ多寡等變動常ナキ數字ヲ以テ、公認査定ノ規準トセルコト(公認運送取扱人制度實施後僅カ三年ニシテ二回ノ改正ヲ餘儀ナクセラル)。

ロ 公認店選定ハ非公認店ノ要求ト失格者ノ哀願トニ因リ次第ニ條件緩和セラレ、資力信用足ラザルモノモ相當多數公認セラルル結果トナリ、本制度ノ趣旨ヲ没却スルニ至リタルコト。

ハ 公認運送取扱人制度ハ單ナル鐵道ノ運送店ニ對スル信用ノ裏書ニ過ギズシテ、何等運送店ニ對シ省ガ運送營業ノ實體ニ觸レテ指導監督ヲ爲サザリシ結果、經營又ハ作業ノ方面ニ改善ガ行ハレザリシコト。

第二 指定運送取扱人制度

一 公認運送取扱人制度末期ノ事情

公認制度ノ末期ニ至リ、曩ニ省ニ於テ設立セシメタル公認運送組合中央會ハ鐵道ノ公認ノ濫發及公認運送店ニ對スル省ノ支持ノ緩漫ヲ責メ、遂ニ鐵道ヨリ離レテ自主獨立シ中央集權主義ニ進マントシ中央會ヲ解體シテ、公認返上ヲ決議シ、大正十二年自ラ帝國運送協會ヲ設立シタルモ、内部ニ種々複雑ナル勢力爭アリ、結局内國通運系ト國際運送、明治運送系トニ分裂シ兩系統ノ抗爭ハ激甚トナリ、各運送店モ兩者ノ系統ニ分レテ相對峙シ、不正不當ノ競争ハ行ハレ兩者共ニ經營困難ニ陥リ、其ノ弊害極度ニ達セリ。

二 省ノ運送合同ニ對スル聲明

當時省ニ於テモ小運送界ノ亂脈ガ一般國民ニ甚ダシキ迷惑ヲ與フルノミナラズ、鐵道運送ニ支障ヲ及

シ且軍事輸送ノ障害トナルヲ以テ、何等カ解決ヲナスベキ必要ヲ認メシ際ナレバ、之ガ實行方法ニ就キ調査研究ノ結果、運送業者ニ合同ヲ懲憑スルニ決シ大正十五年聲明書ヲ發シタリ。

聲明書ノ内容ハ「業界ハ徒ラニ黨派的競争ニ没頭シ小運送費ノ低廉、業界ノ安定ヲ望ムコトハ百年河清ヲ求ムルニ等シク今ニシテ鐵道モ業界モ斷乎タル處置ニ出ヅルニ非ザレバ國民ニ對シ遂ニ辯解ノ辭アルコトナシ今ヤ鐵道モ業界モ新時代ニ直面シ一大決心ヲナスベキナリ」トシ

甲案「業界ハ大合同ヲナシ交互計算ヲ統一シ鐵道ハ此ノ大合同團體ト提携シ、小運送費ノ輕減ト社會公衆ノ福利ニ寄與ス」

乙案「鐵道ハ運送業者中最モ信用アリ誠實ナリト認ムルモノノミト提携シ、鐵道ノ責任ニ於テ一部又ハ全部ノ戸口ヨリ戸口迄ノ運送ヲ斷行シ、小運送費ノ公正ト輕減ニ付責ヲ負フ」

トノ兩案ヲ提出シテ業者ニ其ノ一ヲ選バシメタリ。

三 業界ノ推移

業界ハ突如發表セラレタル此ノ鐵道省ノ聲明ニ對シ紛亂ニ紛亂ヲ重ネタルモ、漸次甲案ヲ基調トスル合同案ニ向ツテ進ミ、各地ノ運送店ノ系統會社タル内國通運、明治運送、國際運送ノ三者ハ共同出資ヲ爲シテ合同運送株式會社ヲ創立シ、更ニ同社ヲ根幹トシテ日本遞送株式會社其ノ他大小十六會社ヲ合併シ、昭和二年合同運送株式會社ハ商號ヲ國際通運株式會社ト改メ、次デ昭和二年内國通運ハ國際通運、國際運

送及明治運送ノ三會社ヲ合併シ、國際通運株式會社ノ商號ヲ繼承シ資本金ヲ一千五百五十萬圓トセリ。而シテ各驛ニ於テモ運送店ノ合同次第ニ進捗シ、大體一驛ニ一店宛ノ合同運送店ノ成立ヲ見ルニ至レリ。

四 指定運送取扱人制度實施

茲ニ於テ省ハ從來ノ公認運送取扱人制度ヲ廢止シ、昭和二年指定運送取扱人制度ヲ新設實施セリ。指定運送取扱人制度トハ各驛ニ於ケル合同運送店又ハ合同運送店ナキ驛ニ於テハ最モ資力信用アル運送店一店宛ヲ選定シ、之ヲ鐵道省指定運送店トシタルモノナリ。而シテ從來ノ公認運送取扱人制度ガ複數制ナルニ對シ、指定運送取扱人制度ハ單數制ニシテ、指定店ニハ省ノ直營スル特別小口扱貨物集配作業ノ下請及貨物積卸、貨車手押入換其ノ他ノ作業ヲ請負ハシメ、尙業者ノ爲ニ小口混載貨切扱ノ運賃割戻制度ヲ設ケタリ。

五 特別小口扱ノ創設

省ハ亂脈不統一ナル小運送費ヲ匡正スル爲、小口貨物ノ一部ニ付其ノ集配ヲ直營スルニ決シ、荷主ノ戸口ヨリ戸口マデ鐵道ノ責任ニ於テ運送シ、集配料ヲ含メタル簡單ナル一本運賃ニ依リテ取扱フ特別小口扱(現在ノ宅扱)ノ制度ヲ創設シ(昭和二年)、其ノ集配ヲ國際通運會社ニ元請セシメ、實際作業ハ之ヲ各驛指定運送店ニ下請セシメタリ。

第三 集配元請契約ノ改正

一 特別小口扱元請料金

特別小口扱創設當時ノ集配元請料金ハ、當時ノ急行便ノ配達料金ヲ基礎トシテ集配料ヲ査定シ、之ヲ運賃中ニ加算シテ荷主ヨリ收受スルト同時ニ、他方之ガ平均率ヲ以テ元請料ヲ査定シ會社ニ支拂フコトトセルモノナリ。然シナガラ右ノ急行便配達料金ハ當時ノ實情ヨリ見ルニ、小運送費トシテハ相當高額ナリシヲ以テ、大體年間百五十五萬圓ト豫定シタル數量ニ達セズ、省ハ之ガ利用ノ普及ヲ圖ル爲、實施後數回ニ亘リ特別小口扱貨物ノ基本運賃及集配料ヲ引下ゲタルモ、元請料金ノ引下ヲ行ハズシテ却テ之ガ一部ノ引上ヲサヘ爲シタルヲ以テ、省ハ荷主ヨリ收受スル集配料ヲ以テ元請料ヲ充ス能ハズ、不足額ハ基本運賃中ヨリ支辨セザルベカラザルニ至レリ。而シテ省ハ元請會社ノ下拂ニ關シ何等干涉セザリシヲ以テ、元請會社ハ之ヲ任意ニ決定シ、大體毎年元請料ノ二割強ニ相當スル約百四、五十萬圓ノ手數料ヲ收受シ居リタリ。

斯ル状態ナリシヲ以テ此ノ點ニ關シ、省ハ第五十二議會以後屢々議會ニ於テ質問ヲ受ケ、會計検査院ヨリモ毎年質問繼續セラレ一般社會ヨリモ批難ノ聲ヲ聞クニ至レリ。

二 昭和十年ノ改正

當時恰モ鐵道ハ一般貨物運賃ノ引下ト同時ニ特別小口扱制度ヲ改正シ、更ニ之ニ關聯シテ元請契約ヲ根本的ニ是正スル必要ヲ認め居リシヲ以テ、調査研究ノ結果昭和十年十月一般貨物運賃ノ引下ヲ爲シ、國民ノ運賃負擔輕減ヲ計ルト同時ニ、集配請負契約其ノ他ニ就キ大體左ノ如キ改正ヲ行ヒタリ。

イ 特別小口扱貨物ノ運賃引下

基本運率ヲ引下ゲ容積品ニ對スル割増ヲ緩和シ、鐵道ト航路トノ通算ヲ爲シ、全體トシテ一割二分ノ引下ヲ爲シタリ。

ロ 指定制度ノ助長ト運送業者間ノ融和促進

特別小口扱ノ驛託驛留ヲ廢シ、總テ集配付トシ之ヲ指定運送店ニ行ハシムルコトトシ、指定運送店ニ持込ミ託送シタルモノニ對シテハ、託送者ニ持込費用トシテ指定運送店ヨリ相當額ヲ支拂ハシムルコトトシ、之ニ依リ指定、非指定兩業者融和ノ途ヲ拓キタリ。

ハ 請負料金ノ合理化

前述ノ如ク從來ハ荷主ヨリ收受スル集配料ニ運賃中ヨリ補足シテ元請料ヲ支拂ヒツツアリシヲ改メ、荷主ヨリ收受スル集配料金ト國際通運ニ支拂フ元請料金トヲ一致セシメ、且集配料金ノ引下ヲ行ヒタリ。尙從來元請會社ノ手數料收入ハ相當多額ナリシヲ以テ、元請會社ノ手數料ヲ一割以內ニ制限

シ、元請料總額ノ九割以上ヲ下請人ニ下拂料トシテ支拂ハシムルコトトセリ。

八

三 改正後ノ實績

省ハ特別小口扱ヲ宅扱ト改稱シ、運賃引下ノ外取扱ノ簡易化ヲ行ヒタルヲ以テ、改正後宅扱ノ數量ハ激増シ、改正直後ハ前年ニ比シ三割、最近ニ於テハ七割ノ増加ヲ見ルニ至レリ。

第四 現在ノ狀態

鐵道省ハ本年七月指定運送取扱人規程ヲ定メ、指定運送取扱人ノ指導監督ニ努メツツアルモ、他ノ四千店ニ垂ントスル非指定店ニ對シテハ何等ノ取締法規ナク、依然自由營業ナルヲ以テ小業亂立、不當競業ノ跡ヲ絶タズ、加フルニ運送店ノ指導的立場ニアル統轄會社ガ數個ニ分立シ、且純然タル營利會社ナルガ爲ニ業者ニ對スル指導助成等統一セル方針ニ基ク公益的活動ヲ爲シ難キ狀態ニアリ、之等ノ點ニ就キ此ノ際徹底的方策ヲ樹ツルニ非ザレバ、小運送問題ハ到底之ヲ改善シ得ザルコト明カナリ。

(鐵道省印刷場印行)
(昭和十二年三月)